

みんなで育む「様似愛」 自立と共生を目指し、幅広い地域住民のふれあいを通じた教育活動

北海道様似町	●活動名	●関係する学校名
	様似町地域学校協働活動	様似町立様似小学校 様似町立様似中学校

協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	2 校	のべ学級数	14 学級	のべ児童・生徒数	255 人
活動区分	学校支援活動	—		—		—	
	—	放課後子供教室		外部人材を活用した教育支援活動			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数			
	1人	1人		1人			
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成30年4月1日設置	—	36人	—	—		
参考URL	http://www.samani.jp/						

●連絡先	様似町教育委員会生涯学習課	☎ 0146-36-2521
------	---------------	----------------



●活動の概要・経緯

様似町では、平成20年度から学校支援ボランティアが小中学校の授業や学校行事の支援、グラウンド整備などの環境整備を行っている。
 平成23年度から放課後子ども教室を開設。平成27年度からは放課後児童クラブと一体型の施設で、学習習慣の定着やボランティアによる体験活動を行っている。
 地域の文化団体による子供向けの文化体験事業「子ども文化クラブ」を平成13年度から開始し、地域の人材を活用した教育支援活動に位置づけて実施。文化団体の中には、学校支援ボランティアとしても活動している団体もある。
 地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民等の協力で、社会総がかりでの教育を実現するため本事業を推進している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ・学校支援活動…家庭科の調理実習やマシン授業、茶道体験や書道、アポイ岳(ユネスコジオパーク認定地域)の調査・探究活動などの「学習支援」、体力測定、体育大会、凧揚げ大会、本の読み聞かせ等の「行事支援」、グラウンド整備や図書整備などの「環境整備」、その他にも「部活動支援」を行い、個人や文化団体等幅広い住民がボランティアに参加している。
- ・放課後子ども教室…放課後等を安全・安心に過ごし、ICT機器を活用した学習習慣の定着やボランティアによる体験活動を実施することにより、家庭外で長時間を過ごす児童にも有意義な活動ができるよう努めている。
- ・外部人材を活用した教育支援活動…町内の文化団体が放課後等に、「将棋」「百人一首」などの教室を実施。子供の健全育成と将来の文化活動の担い手育成を目指している。

【実施に当たっての工夫】

- ・社会教育担当係が地域学校協働活動全体を総合的にコーディネートし、学校・子供・ボランティアそれぞれに有意義な活動となるよう配慮している。また、役場の他部署、関係機関、コミュニティ・スクール等の活動とも連携させ、継続的な活動となるよう努めている。
- ・全戸配布チラシや町広報紙で活動の周知を行っている。
- ・社会教育委員会議や学校運営協議会における意見聴取により、多様な意見を反映させている。
- ・ボランティアが負担のない範囲で参加できるよう配慮し、活動を通して、楽しさとやりがいを感じることができるよう努めている。
- ・ボランティア経験のない人にも社会教育事業等を通じ参加を呼びかけ、多様な人々が参加するよう努めている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・組織的な活動を継続し、事業の改善を行うことにより、学校や学校支援ボランティアのニーズに合った活動が展開されている。
- ・学校支援地域本部の取組が、小中一貫校(平成29年度～)の取組や、小中一体型のコミュニティ・スクール(平成30年度～)の円滑な導入につながり、学校と地域の連携・協働への機運を醸成することができた。
- ・ユネスコ世界ジオパーク認定地域として、中学生がアポイ岳の自然再生に関わるなど、地域の特色を生かした自然・歴史・文化体験を行うことにより、幅広い住民が関わる教育活動が継続的に実施されている。

● その他

・認定こども園、小学校、中学校がそれぞれ1校ずつの町であり、コミュニティ・スクールの取組をさらに、幼・小・中一体型として発展させ、ユネスコ世界ジオパークに認定されている様似町の特色を生かした、地域社会総がかりでの教育の実現を目指している。



家庭科支援ボランティア(小学校)



ボランティアに遊戯指しを指導した成果を1年ぶりに発表している様子。